

DANタイル® 中塗Rホワイト

ローラー塗装に特化した、良好な作業性・仕上りの透湿形高弾性壁面化粧仕上げ材

■特長

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

- クラックに対する追従性がすぐれています。
- 作業性・仕上がり性が良好な、ローラー塗装専用製品です。
- 安全性の高い水性系です。
- 長期にわたってすぐれた性能を発揮します。
- 付着性にすぐれ、厳しい自然条件にも対応します。
- 透湿性を有しています。

■適用下地

- コンクリート面(現場打ち) ●モルタル仕上げ面
- 塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜) ●ALCパネル

■標準塗装仕様例(なみがた模様)

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥 時間(23°C)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下塗り	水性カチオンシーラー透明	1	0.10~0.16	4時間以上	無希釈	—	はけ、 ウールローラー
	水性カチオンシーラーホワイト				水道水	0~10	
主材	DANタイル中塗Rホワイト	ベース塗り	0.80~1.20	4時間以上	水道水	4~6	砂骨ローラー
		模様塗り	0.80~1.20	16時間以上	水道水	4~6	
上塗り	オーデフレッシュSi100Ⅲ ^{注1)}	2	0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	ウールローラー、 エアレススプレー
	DANタイル水性上塗		0.17~0.20	4時間以上	水道水	5~10 10~20	ウールローラー エアレススプレー

注1)「つや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り」よりお選びください。(つや消しの適用は不可)

※上記の各数値は、すべて標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

●下地改修工事=塗り替えで下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施してください。

●素地調整=塗装工程に入る前に、ほこり、よごれを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整してください。

●ベース塗りの乾燥状態を確認してから、模様塗りに入ってください。

■主な下塗材・上塗材

工程	商品名		
下塗材	水性カチオンシーラー透明	一液浸透シーラー	ファイン浸透シーラー透明
	水性カチオンシーラーホワイト	ニッペ浸透性シーラー(新)	ファイン浸透シーラーホワイト*
上塗材 ^{注2)}	DANタイル水性上塗	オーデフレッシュU100Ⅱ	弾性ファインウレタンU100*
	スーパーオーデフレッシュSi ^{注3)}	オーデフレッシュSi100Ⅲ	ファインシリコンフレッシュ*
		オーデフレッシュF100Ⅲ ^{注3)} *	ファインSi*

(※)JIS A 6909は主材がJIS規格品であり、「下塗材・主材・上塗材」の組合せでJIS A 6909適合仕様となります。*の商品はJIS A 6909 防水形複層塗材Eの適合商品ではありませんが使用は可能です。弾性ファインウレタンU100、ファインシリコンフレッシュ、ファインSiは、つや有りのみ使用可能です。

注2) いずれの上塗材もつや消しの適用はできません。

上塗材に弾性適性のある上塗材以外の塗料を代用しますと、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので、避けてください。

注3) オーデフレッシュF100Ⅲ、スーパーオーデフレッシュSiには、オーデフレッシュ共通中塗を必ずご使用ください。

■ 塗装基準

塗装方法	希釈剤	希釈率 (%)	使用量 (kg/m ² /回)	1缶あたりの塗装面積(m ² /回)
砂骨ローラー	水道水	4~6	0.80~1.20	16~25

■ 塗り重ね乾燥時間

		5~10℃	23℃	30℃
塗り重ね 乾燥	ベース塗り	8時間以上	4時間以上	3時間以上
	模様塗り	24時間以上	16時間以上	16時間以上

■ 容量・荷姿

塗料名	DANタイル中塗Rホワイト
系統	透湿形高弾性壁面化粧仕上げ材
容量	20kg
色相	白色
規格	JIS A 6909 防水形複層塗材E 主材

■ 性能表

試験項目	規格	性能
低温安定性	塊がくみ組成物の分離・凝集がみこと。	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと。	合格
付着強さ (N/mm ²)	標準状態	0.7以上 (防水形複層塗材E)
	浸水後	0.5以上 (防水形複層塗材E)
温冷繰り返し	試験体の表面にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がみこと。	合格
透水性B法(ml)	0.5以下	0.05
耐衝撃性	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がみこと。	合格
耐候性A法	ひび割れ及びひびわれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること。	合格
伸び	標準時	伸び率120%以上
	-10℃時	伸び率20%以上
	浸水後	伸び率100%以上
	加熱後	伸び率100%以上
伸び時の劣化	はがれ、反り及びひびわれがなく、主材に破断及びひび割れがみこと。	合格
耐疲労性	いずれの試験体にも上塗材から主材層を貫通する穴及び破断がみこと。	合格

●試験方法はJIS A 6909に準ずる。

■ 施工上の注意事項 ●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。


- ・フィラーを薄膜仕様で用いる場合に、強溶剤系塗料を上塗りするとリフティングのおそれがありますので適用を避けてください。
- ・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
- ・蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ・改修の場合には、水性カチオンシーラーをご使用ください。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・既存の微弾性下地調整材と比較して、優れたシーリング汚染防止効果を発揮しますが、シーリング材の種類や銘柄によっては、割れたり、汚れたりする場合があります。シーリング部を増し塗ることで、防止効果は向上します。
- ・規定の希釈率を超えたり、規定の使用量以下で塗装した場合は、期待する弾性機能が発揮されないおそれがあります。
- ・ALCパネルに塗装する場合は、平滑性と表面強度を保持するため、フィラー類での下地調整が必要で、弾性塗料は塗膜がのびるのでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造(特殊な力)などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。
- ・塗膜の伸び率は中塗りの使用量によって異なりますので、中塗りは規定の使用量を塗装してください。
- ・塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
- ・本品の上塗りに弾性適性のある上塗り以外の塗料を使用すると、上塗り塗膜にクラックが入りやすく、付着性・耐候性などが低下しますので避けてください。
- ・塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き取って除去してください。
- ・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- ・スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じるがありますが、時間とともになくなります。
- ・反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。回った場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ・動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいため、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなおそれがあります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透性シーラー、ニッペファイン浸透性シーラー、ファインパーフェクトシーラーをご使用ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・材齢の若いコンクリートなどセメント成分が十分に硬化していない場合、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので、溶剤系シーラーをご使用下さい。
- ・新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透性シーラー、ニッペファイン浸透性シーラーをお使いください。
- ・開封後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面の塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペパーフェクトNBシールを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑性移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・薄めすぎは隠れが不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- ・汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかきはんしてご使用ください。
- ・開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項<DANタイル中塗Rホワイト>

横倒 禁止

- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
- ・本来の用途以外に使用しないこと。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
- ・口をすすぐこと。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理すること。
- ・施設して保管すること。
- ・直射日光や水濡れは厳禁。
- ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
- ・容器は、つり上げないこと。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意すること。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- ・屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接する家屋の換気口、空気取入れ口等に目張りをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにすること。
- ・火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いること。
- ・容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。
- ・内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 □詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
 □本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告		危険有害性情報	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
----	---	---------	----------------------------

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9320
 東北支店 ☎ 022-232-6711 中国支店 ☎ 082-281-2180
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
 北関東支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
 中部支店 ☎ 052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- © Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-A014
NP220800H

2022年6月現在